

## 知事と区市町村長との意見交換会(瑞穂町)

令和2年10月12日(月)  
15時10分～15時30分

○行政部長 それでは、意見交換を始めさせていただきます。

冒頭、知事からお願いいたします。

○知事 杉浦町長、御苦勞さまでございます。また町村会の方でもいろいろ御努力いただいております。

コロナが世の中を一変させてしまいました。その中で感染の拡大防止と社会経済の両立というウィズコロナの社会、どうやってつくっていくか、どうやって生きていくかが問われているところであります。今日わざわざお越しいただいておりますのも、これらの難局をともに打ち勝って、そして、東京での今、都政の構造改革を行っております、それを梃子にして新しい日常、サステナブル・リカバリーという新たな視点でもって長期戦略を描いている最中でございます。そういった観点から現場のお声も聞かせていただき、コロナ対策もございましょう、今後のビジョン等も伺わせていただければと思いますので、どうぞ短い時間ですがよろしくをお願いいたします。

○行政部長 それでは、杉浦町長、御発言をお願いいたします。

○瑞穂町長 まず、新型コロナウイルス感染症拡大の予防並びに対処につきまして、小池知事には長期間にわたり緊張が続き、お疲れのことと存じます。他県に先駆けまして各種施策に御尽力いただいていることに感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、知事をはじめ副知事、各局の方々に敬意を表したいと存じます。

東京都の打ち出しました各種施策とともに、私たちも地域事情に応じた柔軟な施策を展開しているところでございます。

さて、本日、テーマに沿って意見を申し上げたいと思います。まず、現時点では、政府並びに東京都の社会経済対策によりまして、世界恐慌を上回る危機にあると言われる中で、混乱は最小限にとどめられていると、抑制されていると思います。しかし、来年度の町の予算を見ますと、歳入の減少幅は見通せず、従来施行してきた各種住民サービスを見直さざるを得ない場合も出てくるのではないかと懸念しているところでございます。町行政の各部に対しまして、来年度予算編成につきましては、各種事業の優先順位を示した上で、これまで以上の選択と集中を指示したところでございます。私たちも全力で地域経済を立て直しに努めますが、財源である税収に関する減額の予測。またこれに伴う減収補填につきまして、東京都に助力を求めざるを得ない状況もございます。どうぞ御支援を賜りますようお願いを申し上げます。

住民の方々は、これまで実施されてきた各種施策は継続するものと期待している中で、東京都と瑞穂町が相互に連携して施策展開が図られるべきであると考えます。新型コロナウイルス治療薬またはワクチンの接種が可能となった時点で、住民の皆さんの視点は将来

のまちづくりに移ることとなります。瑞穂町の具体的な長期戦略を示し、希望を持っていただくことがまちづくりには欠かせません。

折しも今年度（※来年度）、町の長期総合計画及び各種重要計画の改定の年に当たることから、将来展望を示す好機と考えています。感染症対策、災害対策も重要な項目として位置づけられますが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして社会の変革を求められる中で、私は、知事が示したデジタルトランスフォーメーション並びに若い世代に対する企業支援制度に着目しています。瑞穂町でも少子高齢、人口減少、さらに働き方の転換を迫られている中で、労働人口の補完、生産性の維持は、経営改革並びに技術改革なしにはあり得ないからでございます。

既に東京都の従来保有していた農業及び工業生産等は、その多くが多摩地域に移転している中で、技術と経験のデジタル化は、政府が言う行政のデジタル化以前に必要と考えています。起業家の育成は必須でございますが、実際に活躍できる場所は、都心部だけではなくて、むしろ生産者、技術者に身近な場所で展開し、さらに家賃、当初の必要経費等、抑制できる地域に活躍の場所があると考えています。これからも将来投資は必要であり、民間投資を誘導できる具体的まちづくり戦略を展開しなくてはなりません。東京都の魅力は、常に知事もおっしゃっていますが、独特の文化や景観に加えて多様性にあるのであり、これからも守るものと変化させるべきものを選択することが魅力を高めるものと思います。将来の瑞穂町のアフターコロナにおけるまちづくりに、今後も東京都の助言また御支援をいただきますようお願いを申し上げます。

次に、東京都と区市町村の連携強化について触れたいと思います。既に東京版 iCDC の運用が開始されました。広域自治体としての東京都の過去の知見を踏まえ、医療関係、保健行政との連携強化はこれまで以上に必要となっている中で、瑞穂町もその機能に期待を持つと同時に、町としての役割をしっかりと果たさなければならないと思います。地域性を最も知る地方自治体が、平時において情報を共有することと、地方自治体機能が東京都のコントロール機能と一体となることで、危機管理体制は一層強化されるものと思います。感染防止と不安を軽減するために、今後も検査対象について、住民要望は続くものと思いますが、保健所に今現在その多くの役割が集中している状況でございまして、負担軽減を図るとともに、対象範囲、規模、頻度、体制整備、検査結果の取扱いなどを明確にし、都と全区市町村が同じ方向性を持って取り組めるように、調整を強化していただきたいと存じます。

併せて、ワクチン接種の段階で、開始時期、年齢別優先接種順位、接種方法、費用負担など格差が生じないように、区市町村の意見を踏まえた調整が必要であるとともに、医療関係、保健行政関連、介護施設、障害者施設など、健康を守り、福祉関連施策を守るための必要な支援策を考慮いただきたいと願うところでございます。

コロナ禍における災害時避難所の運営についても、対応情報の共有化に御配慮をいただきたいと存じます。

次に、先ほどもアフターコロナにおける瑞穂町のまちづくりの方向につきまして触れた

ところでございますが、瑞穂町内には1,600社を超える大中小の企業が集まり、高水準の技術が集積しています。既存企業の継続性の確保は、町にとっても大きな課題ではありますが、同時に、営業力、開発力で劣る中小企業のイノベーションと現在の技術を活用し、新たな技術と融合させるインキュベーションの推進、テレワークの場所の確保は、町にとって重要な位置づけとなります。いずれも人との関わりが大切でございますが、残念ながら、自家用車に移動手段のほとんどを頼らざるを得ない瑞穂町にとりまして、企業及び個人の経済的負担、時間的ロスの発生は免れません。現在も朝晩の通勤渋滞は改善されていないところでございます。

多摩都市モノレール延伸の必要性は従前から申し上げているとおりでございますけれども、必要なときに都心部あるいは他の地域に存在する企業と連携し、地域を超えた経済活動を支えるための公共交通網の整備は必須となります。無論のことながら、新型コロナウイルス感染症を防止する拠点である医療機関の連携にも欠かせないところでございます。東京都も新型コロナウイルス対応で財政状況が悪化し、来年はオリンピックの開催に必要な経費の確保が必要であることは重々承知してはいますが、公共交通の早期の実現をお願いするものでございます。

最後に、最近の台風の大型化、そして局地的大雨による被害を軽減するため、雨水対策事業について、瑞穂町と青梅市が共同で実施する予定となっております。防災力を高めなければならない雨水幹線整備事業への財政支援をお願いして、お話を終了したいと存じます。以上でございます。

○行政部長 どうもありがとうございました。

それでは、知事からお願いいたします。

○知事 まず、国の方が地域における感染状況を踏まえまして、感染拡大を防止する必要がある場合には、感染が発生した店舗や施設などに限らないで、地域の関係者を対象にして、幅広く行政検査を実施することができるというふうにしています。都もこれを踏まえまして、必要な方が迅速に検査を受けられるという考えの下で体制を整備しているところであります。

新型コロナウイルスについては協議会を設けさせていただいて、瑞穂の方からも御出席いただいているかと存じます。そこで各種情報を共有し、また週報から日報に今回変わっておりますので、よりきめ細かに情報提供していきたいと考えております。

そして、様々、コロナ対策っていうのはずっといろんな状況、試行錯誤もありますけれども、それらを踏まえて、より改善を図っておるところで、検査の実施主体、各保健所でもありますけれども、保健所の設置市とそれから非設置自治体との差が出ないように、これからも一丸となって取り組んでいくというのがまず1点。

それから、同じくワクチンに関しての件を述べられたわけですが、ワクチン接種の実施体制を整えていくことは重要であります。そもそも、いつどのような形でワクチンができていくのかっていうのが目下の関心事ではありますが、一日も早くそれが実現できるということを期待しておるところであります。ワクチン接種の開始時期、優先順位などに

については国の方の分科会で議論がなされているということで、これらの動きを注視していきたいと考えております。

それと、同じくコロナでありますけれども、この医療現場、そして介護サービスの施設、さらには障害福祉サービスの施設など、これらの施設において、強い使命感を持って取り組んでいただいている皆さんには改めて敬意を表したいと思います。これらの方々には、国制度を活用して慰労金を支給しているところであります。

また、関係団体と協力しながら高齢者の施設、そして障害福祉サービス施設の人員不足が、クラスターなどが出て、そこのサービスを担う方々が来られなくなるというような場合には応援体制を構築することとしておりまして、これからも必要なサービスを継続的に提供できるように支援をする。

そしてまた、保健所についてでありますけれども、感染拡大の状況などに応じて保健所内の応援体制の構築とともに、保健師さんや看護師さんなどの会計年度任用職員を新たに採用するなどしまして、都庁内の各局から応援職員を配置するなどしまして保健所の体制強化を図っております。

そしてまた、人権に配慮した冷静な行動を取るように、都民に対してはそういったメッセージを広報、東京都ホームページ、それから感染症対策の動画などを通じて配信しているところであります。そのための法律相談の充実ということで、東京都人権プラザでの特別相談など、様々な対策を講じております。

それから、私の方から最後でありますけれども、今の都市まちづくりに関連しまして、例の多摩都市モノレールでありますけれども、箱根ヶ崎のホームへの延伸であります。これについては、この路線を実現するというところで、開業区間と一体となって南北方向の拠点を結ぶ、そして多摩地域の活力、魅力をさらに向上させることができると、このように考えております。沿線の2市1町においては、この延伸に向けたまちづくりに着実に取り組んでおられ、敬意を表したいと思います。都におきましては、今回事業化に向けまして、基本設計に着手をしております。引き続き関係者との協議、調整を進め、また多摩地域における公共交通ネットワークの更なる充実に向けて取り組んでまいります。

コロナがテレワークを一気に加速させています。働き方なども大きく変わりつつあります。そういった面で、これからもこの多摩地域をどう進めていくのかというのは皆様方と連携しながら考えていきたいと、このように思っております。

私からは以上で、副知事の方から付け加えさせていただきます。

**○副知事** それでは、3点ほど私の方からお答えさせていただきます。

まず、財政課題でございますけれども、本当にコロナ禍というのは自治体財政に大打撃を与えている、これは明白でございます。瑞穂町さんにおかれましても大幅な減収が予想される中、選択と集中という方向性で何とか住民サービスを最大限維持していくと、努められていると今、承りました。東京都といたしましても、緊急対策として、今年度総額100億円の特別交付金を交付するなど、市町村の財政支援に取り組んできたところでございます。今後も町の財政状況等を踏まえつつ、市町村総合交付金の活用など、適切な支援に努

めてまいりたいというふうに考えております。

次に、避難所の問題でございます。コロナ禍では避難所の過密、三密を避けるということが非常に重要な課題になっておりますが、先日、九州地方を襲った台風10号の際の経験からしますと、やはりいろいろ問題がなきにしもあらずだと承っております。やはり、どの避難所がどの程度混んでるかという、その混雑情報を的確、迅速に共有していくということが非常に大切ということだと思いますので、都といたしましては、そういった情報集約や情報発信が実現できるよう、区市町村と連携しながら対策を講じてまいりたいと思っております。

また、避難所を運営される市区町村さんに役立つような新型コロナウイルス感染症ガイドラインを今、作成してるところでございます。いろいろな御意見等も伺いながらこのガイドラインをまとめてまいりたいと考えております。よろしくお願いたします。

それから最後に、下水の整備の件でございますけど、これは長岡1号幹線整備のことと承っております。御要望の財政支援につきましては、都は、市町村が行う下水道事業に対しまして、国の交付金とあわせて、都の補助による支援を行っております。今後も瑞穂町さんや青梅市さんにいろいろお話を伺いながら、交付金及び補助金の確保に努めまして、市町村の財政負担の軽減を図ってまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

○行政部長 それでは、今の発言を受けまして、いかがでしょうか、何かございますでしょうか。

○瑞穂町長 以上でございます。ありがとうございます。

○行政部長 それでは、最後に、知事からお願いいたします。

○知事 コロナは本当に大きな変革をもたらしてきております。また、何度か瑞穂の方にもお伺いさせていただいて、いつも、美しいシクラメンも頂戴して、都庁に飾らせていただいております。これからも町民の皆さんが元気で安全にお暮らしになるように、また連携も深めていきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願いたします。今日はありがとうございます。

○瑞穂町長 ありがとうございます。

○行政部長 以上で終了いたします。本日は、御多用のところありがとうございます。